

従 事 者 異 動 届 出 書

年 月 日

富山県知事 殿

免許番号 富山県知事 () 第 号

事務所所在地

商号又は名称

代表者氏名

電話番号 ()

次のとおり従事者に変更がありましたので、富山県宅地建物取引業法施行規則第 3 条の規定により届け出ます。

事務所の名称						
宅地建物取引業に従事する者の数				従事する者		人
				うち専任の宅地建物取引士		人
新たに 従事する者	氏名	性別	生年月日	主たる職務内容	宅地建物取引士であるか否かの別	従事することとなった年月日
従事しなくなった者の氏名		従事しなくなった年月日		従事しなくなった者の氏名		従事しなくなった年月日

備考

- この書類は、事務所ごとに作成すること。
- 宅地建物取引業を他の事業と兼業する場合においては、宅地建物取引業に従事する者についてのみ記入すること。
- 申請者が個人である場合において、その家族が宅地建物取引業者の業務に従事し、又は従事しようとしているときは、その者についても記入すること。
- 「宅地建物取引業に従事する者」には、担当役員のほか、宅地建物取引業に係る一般管理部門に従事する者等も記入すること。
- 「専任の宅地建物取引士」には法第 31 条の 3 第 2 項の規定により専任の宅地建物取引士とみなされる者を含む。
- 「宅地建物取引士であるか否かの別」の欄には、宅地建物取引士である者には○をつけること。なお、専任の宅地建物取引士以外の宅地建物取引士にあつては、登録番号も併せて記入すること。

--	--	--

宅地建物取引業に従事する者の名簿

受付番号	申請時の免許証番号																				
<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>											<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table> ()										

事務所の名称 _____	事務所コード
	* <table border="1" style="width: 40px; height: 20px;"></table>

従事する者 _____ 名 うち専任の宅地建物取引士 _____ 名

項番

	業 務 に 従 事 す る 者						
	氏名	生年月日	性別	従業者証明 書番号	主たる 職務内容	宅地建物取引士で あるか否かの別	
61							
1						[]	
2						[]	
3						[]	
4						[]	
5						[]	
6						[]	
7						[]	
8						[]	
9						[]	
10						[]	
11						[]	
12						[]	
13						[]	
14						[]	
15						[]	
16						[]	
17						[]	
18						[]	
19						[]	
20						[]	
21						[]	
22						[]	
23						[]	
24						[]	
25						[]	

確認

*

備 考

- ① この書面は、事務所ごとに作成すること。
- ② 申請者は、*印の欄には記入しないこと。
- ③ 「申請時の免許証番号」の欄は、免許換え新規又は更新の場合にのみ記入すること。免許権者が富山県知事の場合にあつては「16」と、国土交通大臣の場合にあつては「00」と記入すること。

(記入例)

1	6
---	---

 (1)

		7	0	0	0
--	--	---	---	---	---

 [富山県知事(1)第7000号の場合]

00	国土交通大臣	16	富山県知事
----	--------	----	-------

- ④ 「宅地建物取引業に従事する者」には、営業時従事する者のみならず、宅地建物取引業に係る一般管理部門に所属する者や事務に従事するものも含めること。

また、申請者が個人である場合において、その家族が宅地建物取引業に従事し、又は従事しようとしているときは、その者についても記入すること。なお、宅地建物取引業を他の事業と兼業する場合は、宅地建物取引業に従事する者についてのみ記入すること。

- ⑤ 「氏名」の欄は、姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。
- ⑥ 「生年月日」の欄は、最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例)

R

0	1
---	---

 年

0	8
---	---

 月

2	3
---	---

 日

[令和元年8月23日の場合]

T	大正	H	平成
S	昭和	R	令和

- ⑦ 「性別」の欄は、該当する番号を○で囲むこと。
- ⑧ 「従業者証明書番号」の欄は、法第48条第1項の証明書の番号を記入すること。なお、**新規の免許の申請の場合には、あらかじめ同項の証明書の番号を定め、その番号を記入すること。**
- ⑨ 宅地建物取引士であるものについては、[]内に登録番号を記入し、このうち専任の宅地建物取引士である者については、[]の前に○印を付けること。

(記入例)

○ [(富山) 100]

 [富山県知事 登録第100号である専任の宅地建物取引士の場合]

- ⑩ この書面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。